

Personal data Predict System (PPS) の開発

本プログラムは、学生がもつ低学年時の成績データから学生の特徴量を取り出し、それらを基に学生の成績予測や将来像の推定を行い、それら推定されたものを根拠資料として学生の学修指導を行っていくことを目的としたものである。

図にプロジェクトの全体像を示す。本プログラムは解析フェーズと利用フェーズに大別され、期間内では解析フェーズを行った。期間内には、これまでの学生の成績傾向が一見してわかるように2次元ヒートマップの作成を行い、さらに、学生の成績を基に傾向のカテゴリライズを行った。これらの結果は第4回日本薬学教育学会において発表を行った。今後これらの解析結果を学生の学修指導に適用していく方法の開発を行っていく。

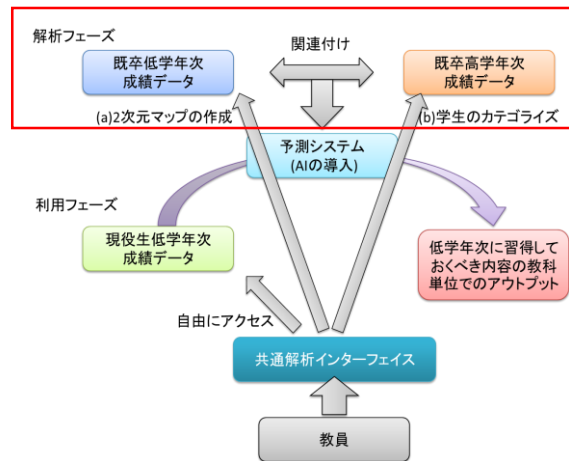


図. プロジェクトの全体像図